

コミュニケーションロボット名： RoBoHoN（ロボホン）

企業名： シャープ株式会社

I. 実生活での活用法

項目と具体的な内容・留意点	コミュニケーション		<p>生活不活発病の予防及び、楽しく生活することで生活の質を向上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的方法/伝えられる情報の種類：話かけると、声とモーションと目/口のLEDにより表情をつけて答えることができます。 逆に、ロボットからの話かけ（持ち上げる、関節を曲げる、タイマー設定、明るさの変化等）も可能です。 会話の内容は、時間、天気、季節によっても変わります。 ・伝える相手：日常会話に支障のない人、特に高齢者の方。 	
	コミュニケーション以外	被介護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットの小型化により、いつも持ち歩いていただけます。 ロボットと一緒に外出することにより、外出の楽しさを増やし、外出の機会を促します。 （写真の撮影や、ルート検索等によりご使用者を補助します。） 	
		介護者	<p>より多くの高齢者の社会活動への参加による、生活の向上が期待できます。</p>	
使用する環境 （場所、時、物、人等）			<ul style="list-style-type: none"> ・有料老人ホームの人の屋内/外出先（今後、自宅にも拡大予定） ・水・砂等がかからない場所でご使用ください。 ・周囲がうるさい環境での使用は避けてください。 ・WIFI もしくは、携帯電話の電波が安定した場所で使用してください。 	
おこりうるマイナスと対処法	被介護者	疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザープロジェクターによる直視による網膜の損傷、視力の低下。 機器の関節にゆびをはさむことによる外傷。 スピーカー使用時に耳を近づけることによる聴覚機能の低下。 => 今回の実証試験においては、ご使用者の対象を限定し、事前に取り扱いの注意説明を実施します。 	
		心身機能	なし	
		活動	なし	
		参加	なし	
	介護者	疾患	なし	
		心身機能	なし	
		活動	なし	
		参加	なし	
禁と応	被	適	疾患	生活不活発病もしくはその予備軍の方。

	介護者	応	心身機能	問わず
			活動	「屋外」活動が可能な人
			参加	問わず。参加制約のある人は、積極的に適用いただけます。
		禁忌		痴呆、精神的に不安定、正常な判断が困難な人、ペースメーカーご使用の方。
	介護者	適応	疾患	問わず
			心身機能	問わず
			活動	問わず
参加			問わず	
	禁忌		問わず	

II. 機械としての要件定義

II-1. 有用性

主機能 (コミュニケーションとして用いる手段)	1. ロボットからの出力	<p>①喜怒哀楽のある声での音声発話、発話に合わせて愛着の湧くモーション、目や口のLEDの発色/点滅による感情表現を行いながら、アプリケーションの起動を行います。</p> <p>②撮影した写真は、プロジェクター（もしくはサブLCD）に表示することができ、さらに予め登録されている人物を見つけると、名前や写真関連するの会話を行うことができます。</p> <p>③電話、メッセージ機能により遠隔地の人とコミュニケーションができます。</p>
	2. ロボットへの入力	<p>①ご使用者は、マイクを通して音声による機器との会話、ならびに機器の操作を行います。</p> <p>②ご使用者は、LCD画面に搭載されているタッチパネルにタッチすることにより機器の操作を行います。</p> <p>③ご使用者は、ロボットに内蔵するカメラでロボットに写真撮影を行うことができます。</p> <p>④ご使用者は、電話、メッセージ機能を通して遠隔地の人とのコミュニケーションができます。</p>

II-2. 機械としての安全性

情報セキュリティ・ プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> ・機器、サーバー間の音声のやり取りはセキュアな通信方式を採用し、盗聴に対する対策を行っています。 ・ソフトウェアの脆弱性に対して定期的（3カ月毎）にソフトウェアアップデートを行います。 ・個人情報保護・プライバシーに関する許諾については、事前に合意いただく必要があります。 販売者（シャープ株式会社）—購入者（施設） 購入者（施設）—ご使用者間
---------------------	--

機器の図

コミュニケーションロボット名： RoBoHoN（ロボホン）

企業名： シャープ株式会社

(本体)



© SHARP CORPORATION

(キャリングケース)



